

KT師重賞本命と見解「フェブラリー・小倉大」

フェブラリーステークス

<最終見解>

本命はエアスピネル。

昨年の2着馬。

今開催の東京ダートは先週までの最多勝利系統がキングマンボ系。

勝ち馬比率は30%近くあり、単勝回収率も200%以上。

単勝20倍以内限定でも119%。

適性面では昨年同様のパフォーマンスを発揮できる可能性が高い馬場。

雨が降れば、より芝指向になる可能性が高いので有利。

先週のアフリカンゴールドを推奨した際にも書きましたが、

高齢になってキャリアを重ねる事が良い方向に向くノーザンテースト持ち。

近親のエアシェイディも8歳の年末に有馬記念3着。9歳で日経賞2着。

昨年の勝ち馬カフェアラオは

キャリアを重ねることが必ずしもプラスとはいえない血統。

昨年は先着したレッドルゼルも人気。

このメンバーなら、昨年同様の走りを

最も期待できるエアスピネルから入りたいです。

ソリストサンダーの昨年は反動もあり短縮ローテ。
今年余力を残して延長ローテ。
武蔵野 S のパフォーマンスでも勝ててしまうメンバー。

ソダシも母父キングマンボ。
雨が降って、時計が出る芝指向が
より強い馬場になれば、単勝以外は期待値まずまず。

小倉大賞典

<最終見解>

タフな馬場で先行持続できる体力、馬力重視。

本命はダブルシャープ。

過去 5 年の当レースは父ノーザンダンサー系が 3 勝、4 連対。

距離短縮 & 前走 3 コーナー 5 番手以内の
ノーザンダンサー系は 8 頭中 4 連対と高確率でもあります。

タフなメジロ牝系。昭和的な競馬にもなりやすい
小倉芝中距離重賞は歓迎の牝系。

叩き上昇血統で間隔を詰めたローテも得意。
中 1 週で出走した 5 回はすべて 3 着以内。
適性面での傾向。自身の能力発揮の傾向いずれも合致。